

## Q 非表示レイヤーの要素が、外部参照元の図面に表示される

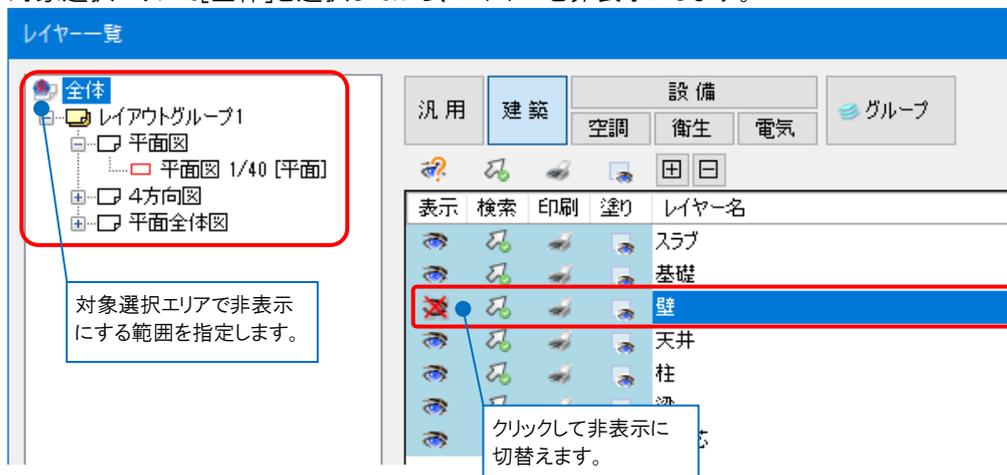
### A1 外部参照先の図面全体で非表示にします

### A2 外部参照元の[レイヤー一覧]で非表示にします

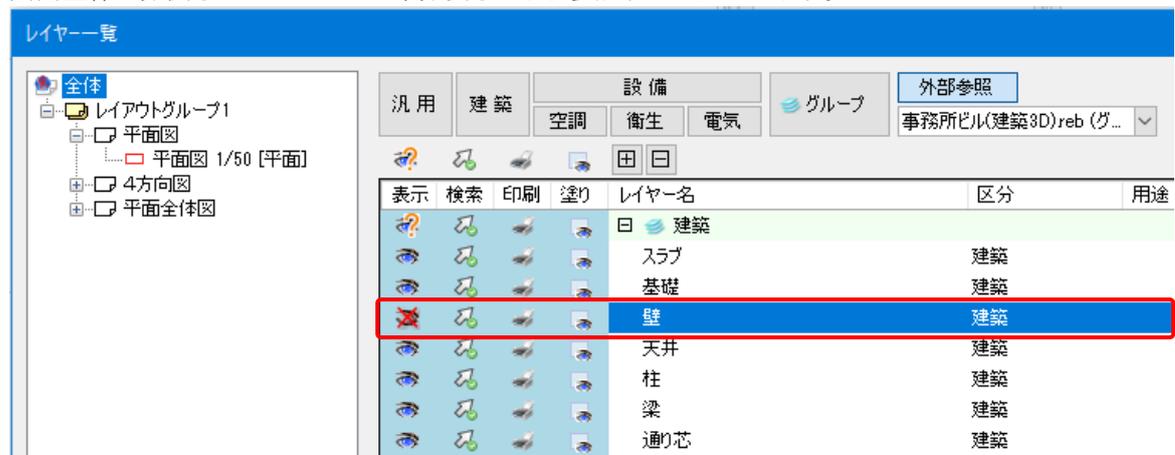
レイアウトごとに非表示にしたレイヤーは参照元では表示状態になります。外部参照先の図面全体で非表示にするか、参照元の[レイヤー一覧]で表示を切り替えます。

#### ▼A1 外部参照先の図面全体で非表示にします

- 1 参照先図面を開き、[表示]タブ-[レイヤー一覧]をクリックします。  
対象選択エリアで[全体]を選択してから、レイヤーを非表示にします。



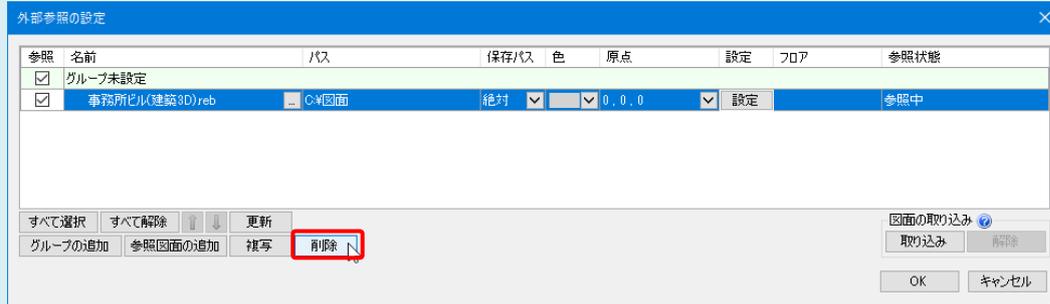
- 2 参照先図面を保存し、参照元図面で[外部参照の設定]を行います。  
図面全体で非表示にしたレイヤーは、非表示のまま参照することができます。



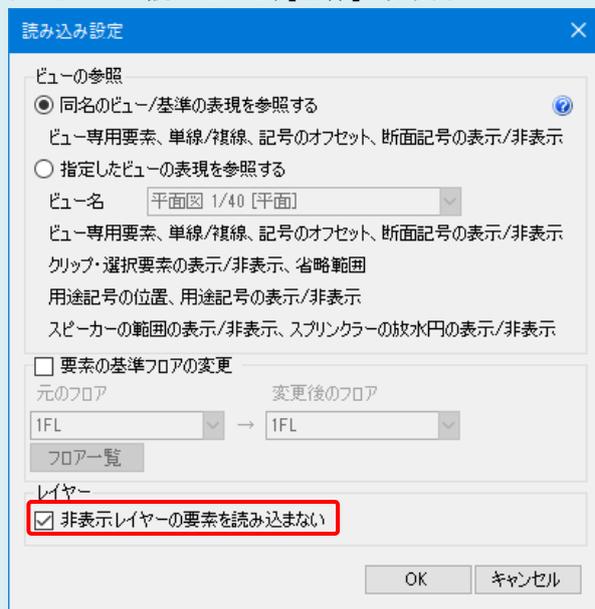
## ●補足説明

既に外部参照を行っている図面で、参照先のレイヤーの表示状態を変更した場合は、一度参照図面を削除してから再度[参照図面の追加]で追加します。

※[削除]をすると、[レイヤー一覧]で外部参照のレイヤーの状態を変更している場合は、設定が解除されます。



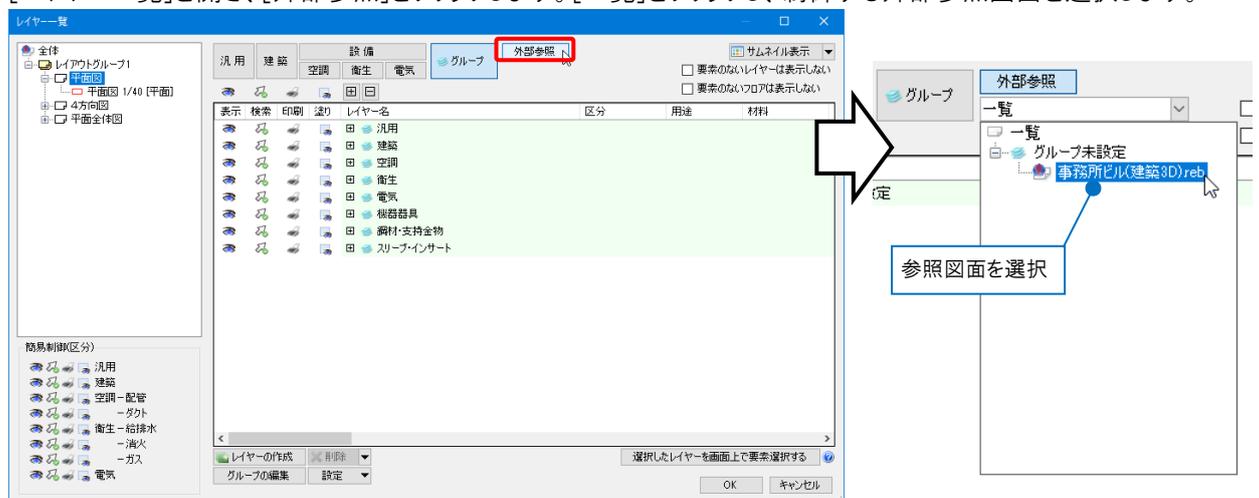
[外部参照の設定]ダイアログで[設定]をクリックし、[読み込み設定]で、「非表示レイヤーの要素を読み込まない」にチェックを入れて読み込むと、[全体]で非表示にしたレイヤーの要素は読み込みません。



## ▼A2 外部参照元の[レイヤー一覧]で非表示にします

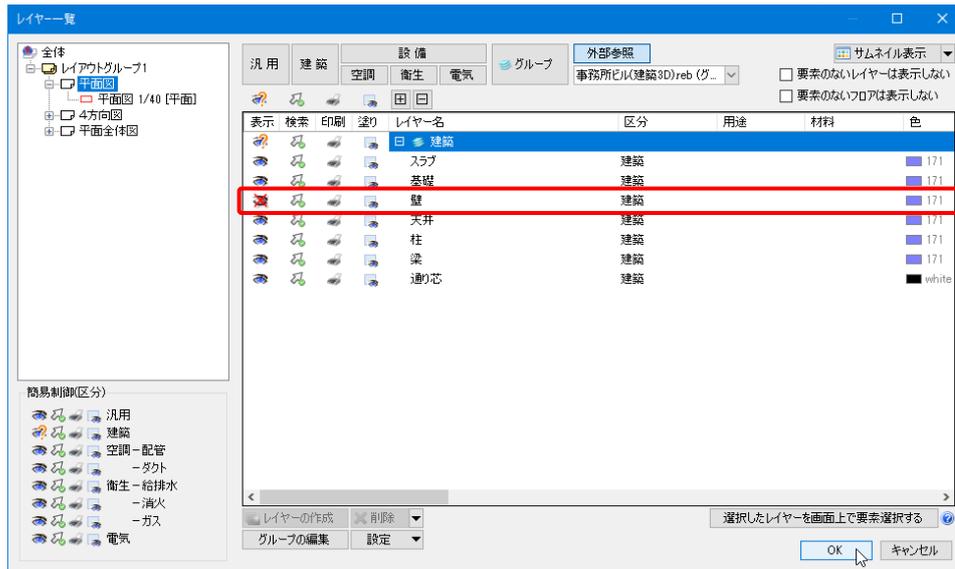
[レイヤー一覧]を開き、[外部参照]をクリックします。[一覧]をクリックし、制御する外部参照図面を選択します。

1



2

外部参照している図面のレイヤーが表示されます。レイヤーを非表示にし、[OK]をクリックします。



### ●補足説明

外部参照先の図面を更新した場合は、設定した時と同じファイル名、同じ場所に保存します。ファイル名とレイヤー名が同じであれば、レイヤーの表示状態を維持できます。[外部参照の設定]で更新したファイルの行を選択し、[更新]をクリックします。

